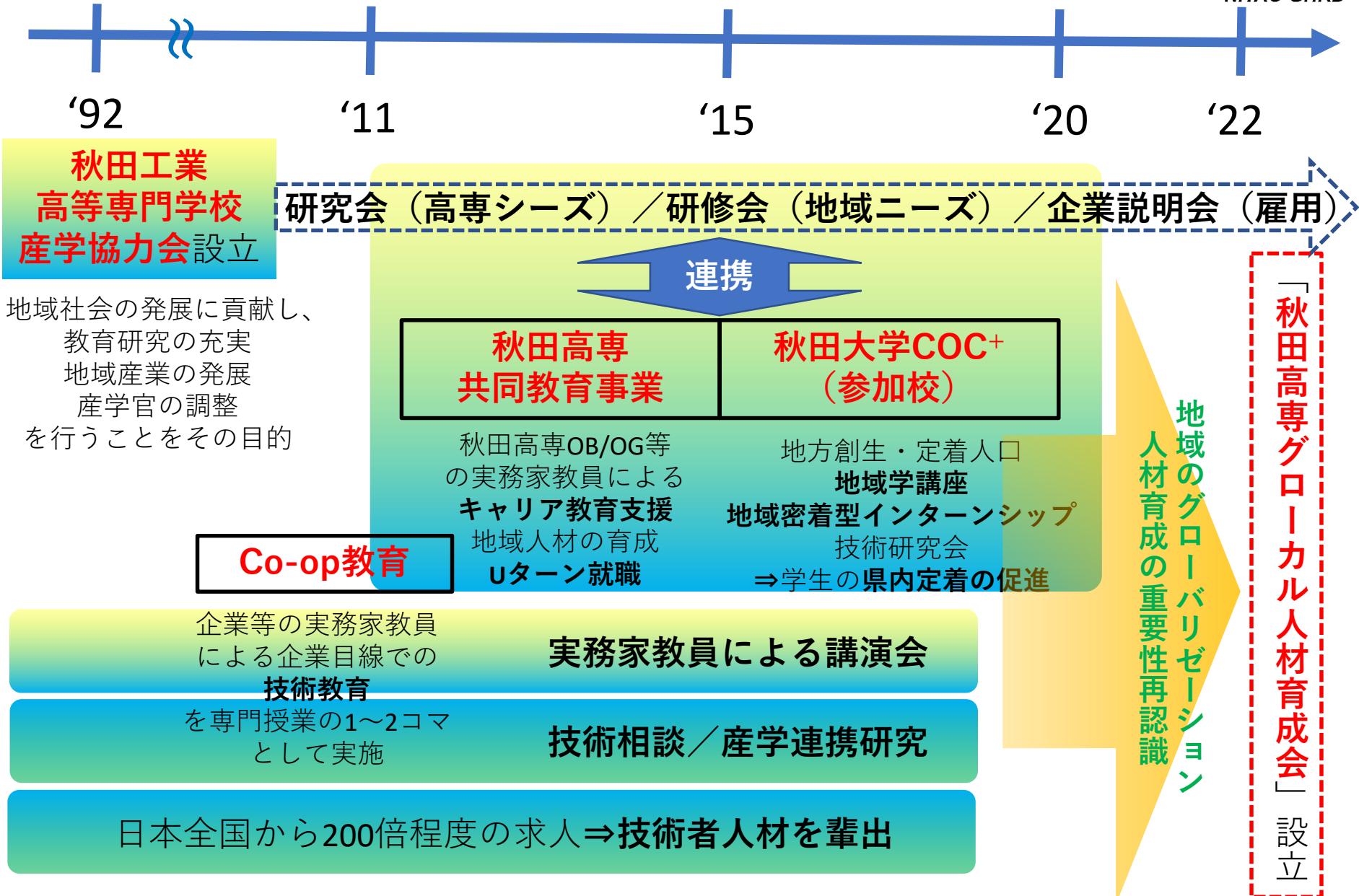
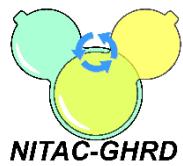


秋田高専グローカル人材育成会 趣旨・年間行事の概要・目的等

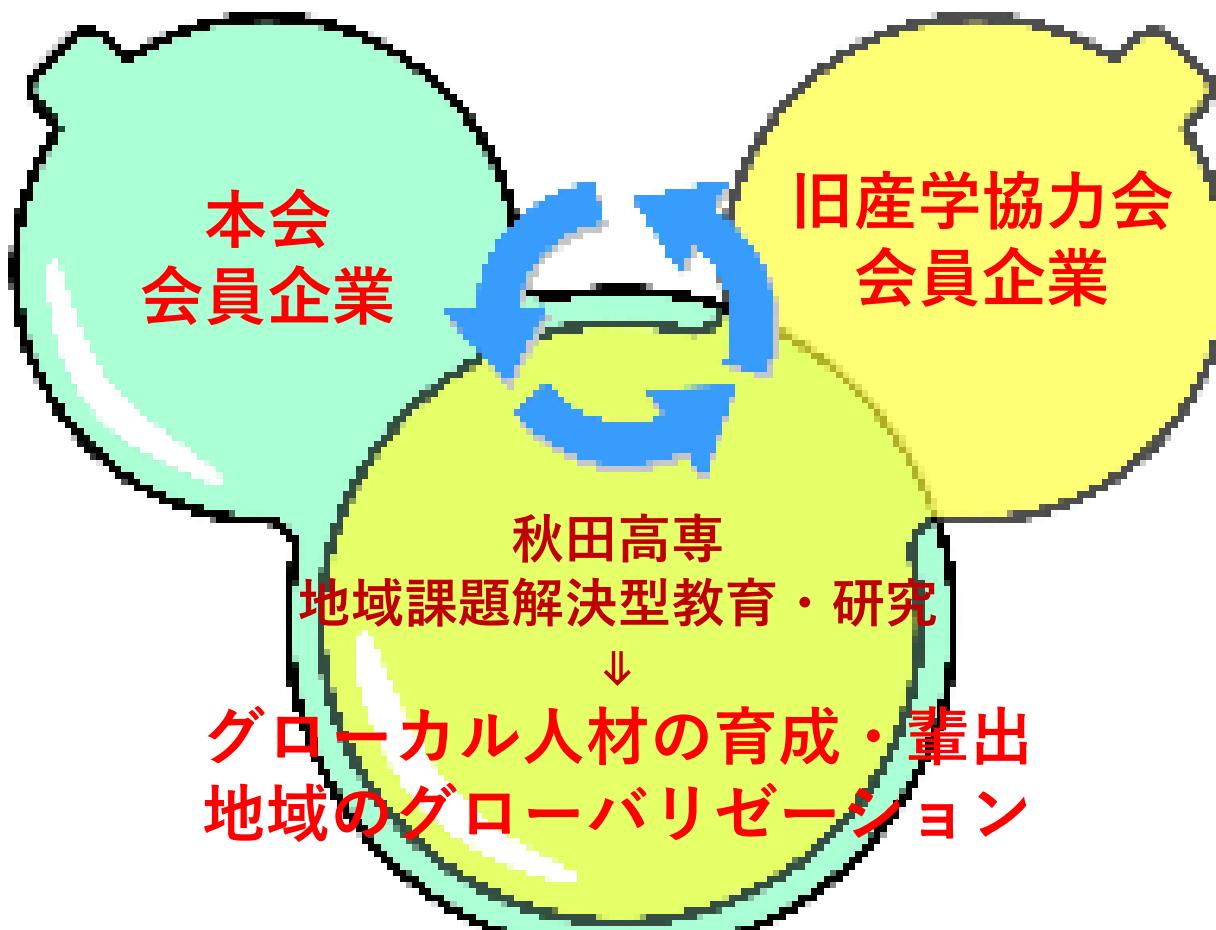
—令和5年度総会資料（一部）より—

記載 秋田高専創造システム工学科
教授 丸山 耕一（本会 副会長）

1. 本会設立の背景



2. 秋田高専产学協力会との合流, そして本会の趣旨



NITAC-GHRD

3. 本会のビジョン・プランニング

『秋田高専グローカル人材育成会(NITAC-GHRD)』



校長ガバナンス

【主な趣旨】
 ・研究を通した高度な教育
 ・産業界、地域とグローバルに密着した教育

運営会議

グローカル人材育成推進委員会

インクルーシブ
な連携

秋田高専グローカル人材育成会役員会

会員数
会長
支部会長

榎 純一客員教授 (元IHI回転機械社長)
菅原雅史客員教授 (インスペック(株)社長)

【プランニング案件】

オープンイノベーション

エコ・システム

産学官金民による
再エネ・GX・半導体製造等
地域共創プラットフォーム

専攻科副専攻との連結

地域密着型“知の循環”

課題解決型研究プロジェクト

リカレント・リスクリング

産学連携による

リカレント

企業人材リスクリング

地域の新価値創造

長期インターンシップ

学年を跨ぐ研修・職業体験

グローカル課題発見

グローカル人材輩出

低学年学生の企業交流

キャリアアップ早期支援

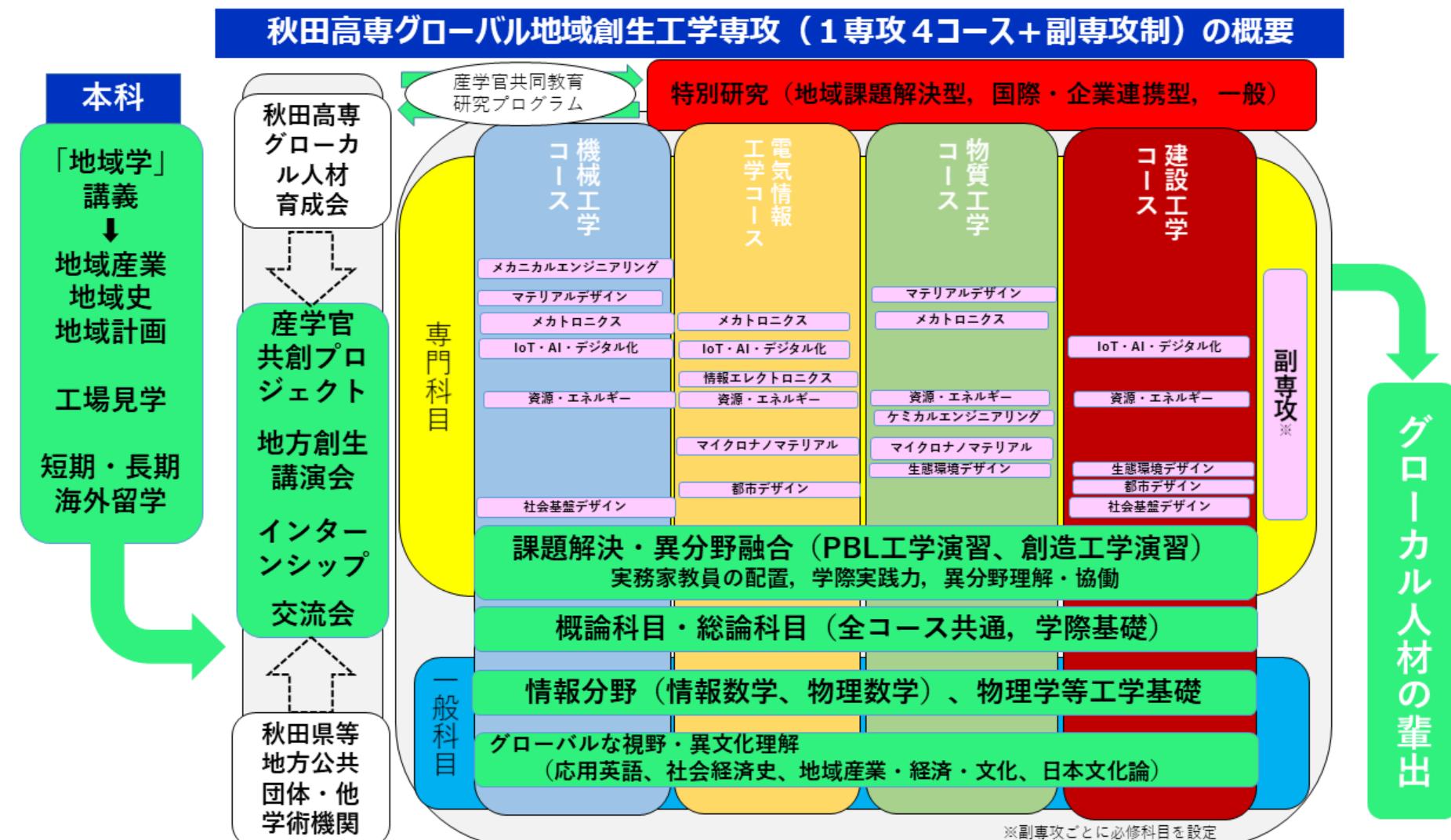
中学生を巻き込んだ人材確保

秋田支部の課題解決

DX人材・GX人材育成・輩出

4-1. 専攻科副専攻（2022年～）

・特別講義の刷新（2023年～）



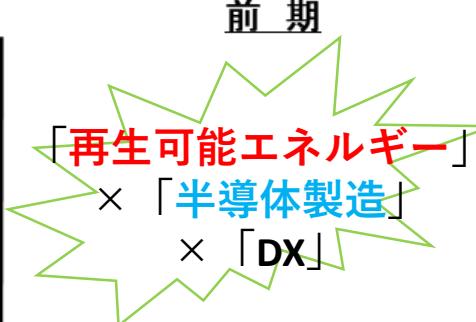
◎専攻科改組の趣旨（の1つ）：産業界との連携による地域課題解決

特別講義（2単位×4）・地方創生講演会：全学系対象



二年

前 期



後 期

地方創生講演会①
(リスクマネジメント)

- ☞ キャリア形成の初步
- ☞ “リスク”意識の萌芽

三年

地方創生講演会②
(再生可能エネルギー)

地方創生講演会③
(半導体製造)

東北経済産業局半導体・エレクトロニクスデザイン研究会・J E I T Aとの協同

県内、東北地方の半導体製造企業

四年

特別講義Ⅲ
(地域産業I)

内2時間 全学生
地方創生講演会④

特別講義Ⅳ
(地域産業II)

内2時間 全学生
地方創生講演会⑤

県内外
半導体・エレクトロニクス関連企業
秋田県産業技術センター等

五年

特別講義I (地域の
グローバリゼーション・DX)

内2時間 全学生
地方創生講演会⑥

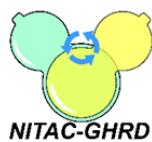
特別講義II
(地域計画)

内2時間 全学生
地方創生講演会⑦

銀行等金融機関
秋田県担当部署
地域資源関連外部講師
☞ 社会の新価値創造
☞ アントレプレナー創出

風力発電O&M事業者、 DX波及企業等
DX関連学術外部講師

4-2. 地方創生講演会・業界セミナー



コロナ禍のため中断していた「**会員企業と学生の距離を縮める第1歩**」である講演会を再開
企業の方と学生が気軽に「**キャリア形成について懇談**」できる会（業界セミナー）を開始

令和4年度第1回地方創生講演会

1. 日 時 令和4年10月13日（木）12時50分～14時20分
2. 講 師 インスペック株式会社 代表取締役社長 菅原 雅史 氏
3. 演 題 「夢をもとう」
4. 対 象 本校本科4年生全員、教職員等

令和4年度2回地方創生講演会

1. 日 時 令和4年12月13日（火）12時50分～14時20分
2. 講 師 秋田県産業労働部産業政策課 政策監 甲谷 暢 氏
3. 演 題 「秋田県の産業政策について」
4. 対 象 本校本科5年生全員、教職員等、
秋田高専グローカル人材育成会会員企業（6社）



令和4年度第3回地方創生講演会

1. 日 時 令和4年12月21日（水）14時30分～16時00分
2. 講 師 秋田高専 地域共同テクノセンター 特命助教 佐々木雅樹 氏
3. 演 題 「ものを創る～売るに潜むリスク」
4. 対 象 本校本科2年生全員、教職員等

令和4年度第4回地方創生講演会

1. 日 時 令和5年1月25日（水）14時30分～15時50分
2. 講 師 中部電力株式会社、三菱商事洋上風力株式会社、株式会社シーテック
3. 演 題 「秋田×洋上風力発電～秋田と、みんなの未来を考える～」
4. 対 象 本校本科3年生全員、教職員等

【業界セミナー】

1. 日 時 令和5年1月25日（水）16時00分～17時20分
2. 講 師 中部電力株式会社、三菱商事洋上風力株式会社、株式会社シーテック
3. 対 象 参加学生（18名）

「地方創生講演会の」講演の模様



「業界セミナー」での懇談の模様

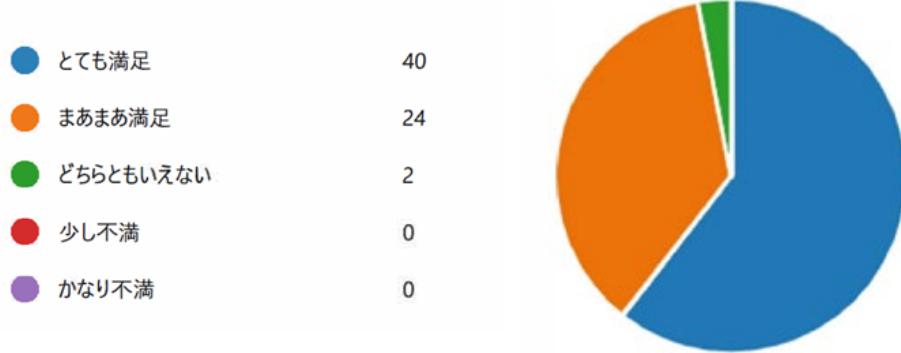
4-3. 採用担当者＆就職担当教員懇談会 企業による個別面談会

採用担当者＆就職担当教員懇談会
(11月下旬～12月上旬、 2日間)

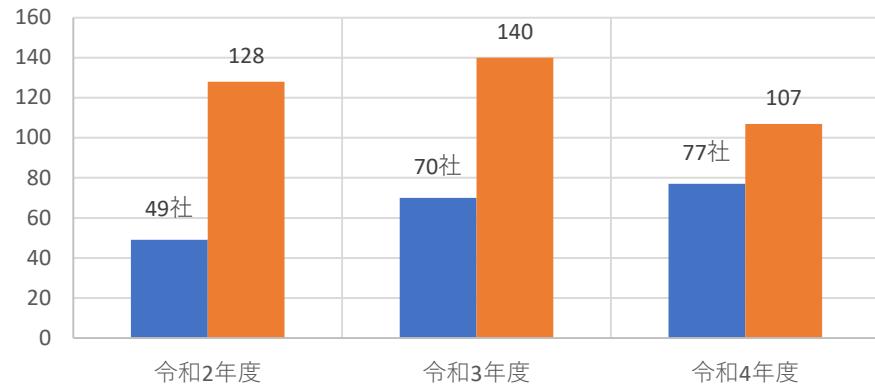


リモート会議中の就職担当教員

【企業アンケート】（令和4年度）
参加の目的を果たせましたか



参加企業数 & 懇談数

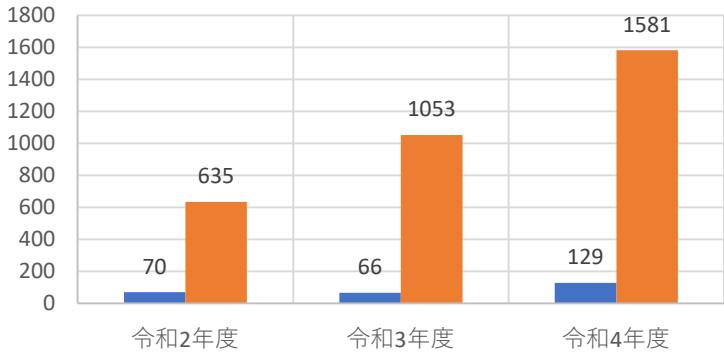


【企業の人材ニーズ】
採用担当⇒各系教員⇒学生
⇒「企業による個別面談会」
⇒「インターンシップ」⇒求人応募

「企業による個別面談会」

(「学生による研究発表会」と同時開催, 2月中旬)

参加企業数 & 面談実績数



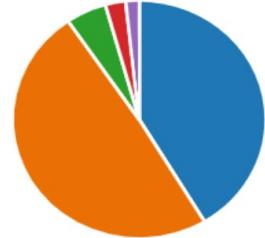
企業ブースには学年・学系を跨いだ学生が集う！！

リモートによるハイブリッド開催とした（令和4年度）

【企業アンケート】

参加の目的は果たせましたか。

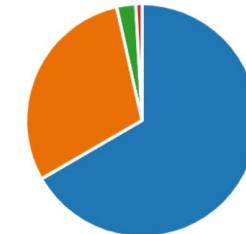
- とても満足
- まあまあ満足
- どちらともいえない
- 少し不満
- かなり不満



【学生アンケート】

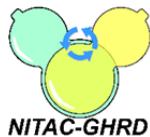
満足度を教えてください。

- とても参考になった
- 参考になった
- 普通
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった



	参加企業数	機械系		電気・電子・情報系		物質・生物系		土木・建築系		専攻科	学年・系統 不明	のべ面談 学生数	備考
		3年生	4年生	3年生	4年生	3年生	4年生	3年生	4年生				
令和4年	128	179	147	75	162	172	115	256	400	40	35	1581	対面・Web 111社回答
令和3年	66	75	96	102	131	202	91	222	94	11	29	1053	Web開催 63社回答
令和2年	70	67	67	41	38	39	56	149	75	1	102	635	Web開催 51社回答
令和元年	64	195	124	135	126	217	77	162	127	—	—	1163	対面開催

4-4. 学生のための業界研究会（2022年～） 学生による研究発表会



「学生のための業界研究会」（令和4年11月2日（水），会場：秋田拠点センターALVE）

目的：**会員企業様の魅力を“技術”から学生にきづかせる & 学修のモチベーション**

参加学生：本科3年生，参加企業数：33社（「あきた技術研究会」と同時開催）



秋田駅に隣接するALVE 1階
“きらめき広場”で開催

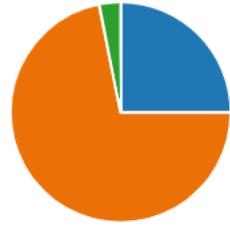


ポスター発表する**企業担当者様の“技術”の説明**
に対して、学系を跨いだ沢山の学生が興味津々！！

【企業アンケート】参加の目的は
果たせましたか。

- とても満足
- まあまあ満足
- どちらともいえない
- 少し不満
- かなり不満

8
23
1
0
0



「学生による研究発表会」

令和2年度 令和3年2月18日・19日 (リモート配信)

令和3年度 令和4年2月16日・17日 (VTR配信)

令和4年度 令和5年2月16日・17日 (対面 (秋田高専) 開催)

本科生
卒業研究発表会
専攻科生
特別研究中間発表会



令和4年度

ポスター発表

Or

口頭発表

※「企業による個別面談会」
参加の企業様が、
発表ブースまで足を運んで
参加いただく形式。



【教育研究プロジェクトの立上戦略】

企業技術者 & 教員視線

「学生による研究発表会」

& 機関誌「・・・シーズ集」

& ⇒ 個別研究会 & 小規模共同研究 & 技術相談

⇒ **課題解決型インターンシップ** のテーマ探索

⇒ 専攻科副専攻 (研究テーマ)

⇒ 「あきたオープンイノベーション討論会」

⇒ 大規模共同研究 & 国プロ等の補助金獲得

採用担当者視線

⇒ 高専生の人間力

⇒ **インターンシップ (課題解決)**

⇒ 「**学生のための業界研究会**」への接続

⇒ 人材開発 & 共同教育プロジェクト

◎会場には発表学生（5年生）のみならず、研究室情報を収集する3・4年生らも
多数おります。別の視点で“学生の人間力”に触れるチャンスです！！

4-5. あきた技術研究会-あきたオープンイノベーション討論会-

令和2年12月10日・11日 (リモート配信, 「採用＆就職担当懇談会」と同日開催)

令和3年11月25日・26日 (リモート配信, 「採用＆就職担当懇談会」と同日開催)

令和4年11月2日 (対面とリモート配信@ALVE, 「学生のための業界研究会」と同日開催)

テーマ	令和2年度 発表件数	共同研究 実績件数	令和3年度 発表件数	共同研究 実績件数	令和4年度 発表件数	共同研究 実績件数
再生・回収技術 に係る分野					2 件	1件 (評価中)
材料開発に係る 分野	1件	1 件 (開発中)			1 件	—
加工技術・生産 技術に係る分野	2件	1件 (開発中)	5件	2 件 (開発中)	4件	1件 (評価中)
AI・DX・制御に 係る分野	2件	—	1 件	—	1 件	1件 (開発中)
環境・エネルギー 関連分野					1 件	—
評価・検査技術	2件	—				
その他 (製品紹 介等)			2件	—		
小計	7件	2 件	8 件	2 件	9件	3件

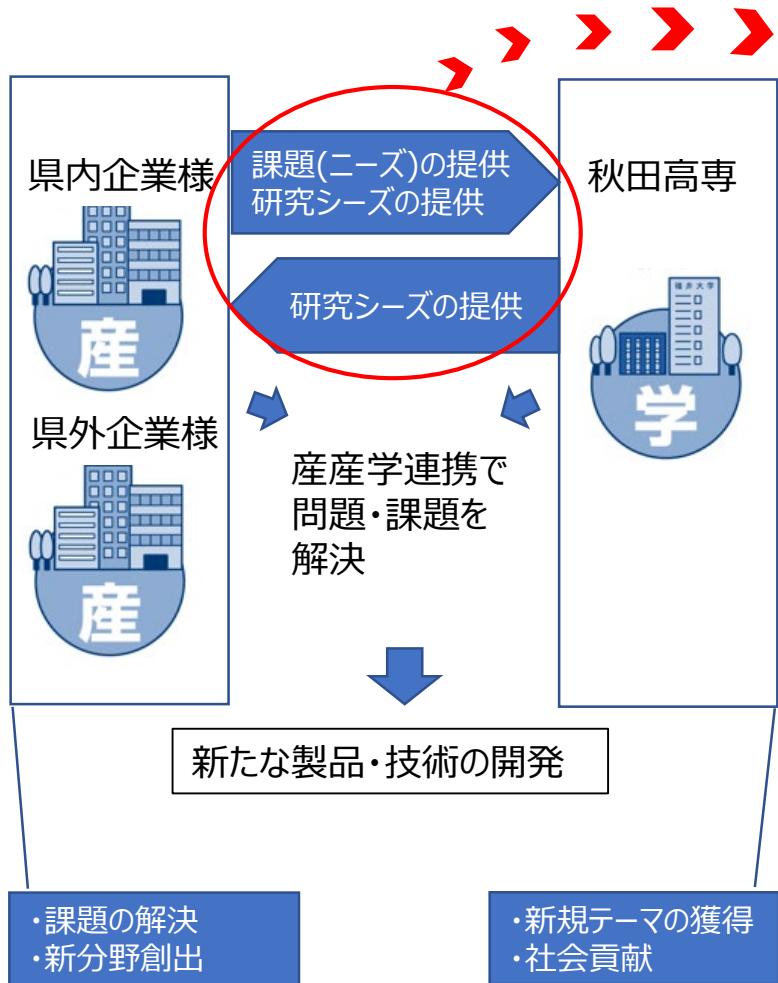
◎より一層の“産产学研連携研究プロジェクト”的促進を試行錯誤中

令和5年度あきたオープンイノベーション討論会

(旧 あきた技術研究会)

○産产学研の連携によって、地域内外のグローバルな視点から地域課題に対する着地点を見出します。

2023.11.2開催予定 於)ALVE



討論会

オープンイノベーション討論会

- ・今年度は
再生可能エネルギー、
グリーン・イノベーション
地域DX推進、SDGs、
街づくり、半導体製造、
モノづくりなどの領域での
研究テーマを幅広く発表
する予定です。
- ・企業様のニーズやシーズと
本校の技術・研究シーズ
とのマッチングを図ります。

地域重点 テーマの紹介

地域重点テーマ

- ・再生可能エネルギー、DXなど
秋田に関連する地域重点テーマを
企業様よりご紹介いただく予定です。



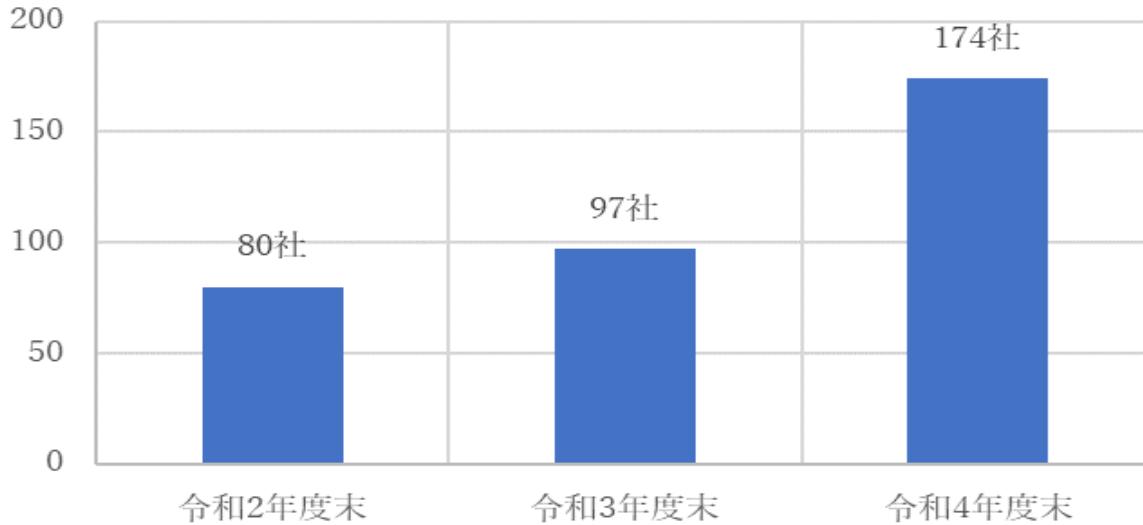
令和4年度秋田技術研究会の模様。会場(ALVE)参集の教員(シーズ提供)と会員企業技術者と、リモートで接続された関係者とのハイブリッド形式の討論会。この討論会から共同研究へつながった事例があります。



○産产学研による「教育研究プロジェクト」に携わった学生が将来「グローカル人材」として活躍！！

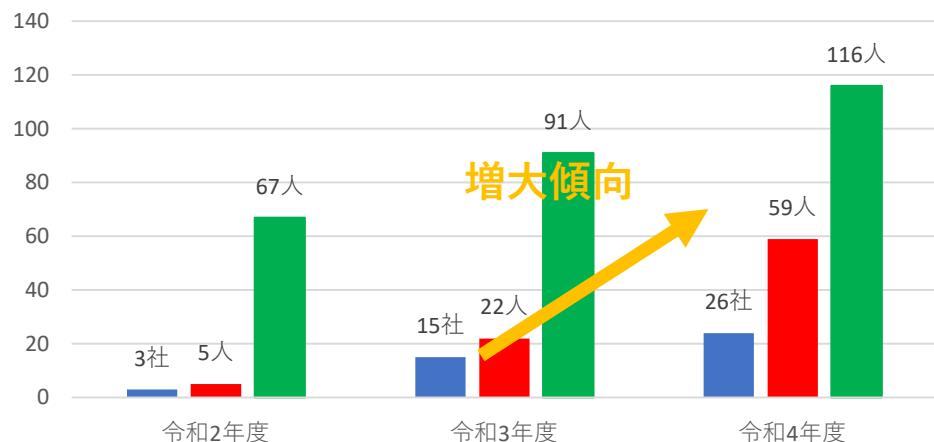
4-6. 会員企業数, インターンシップ・就職件数

会員企業数



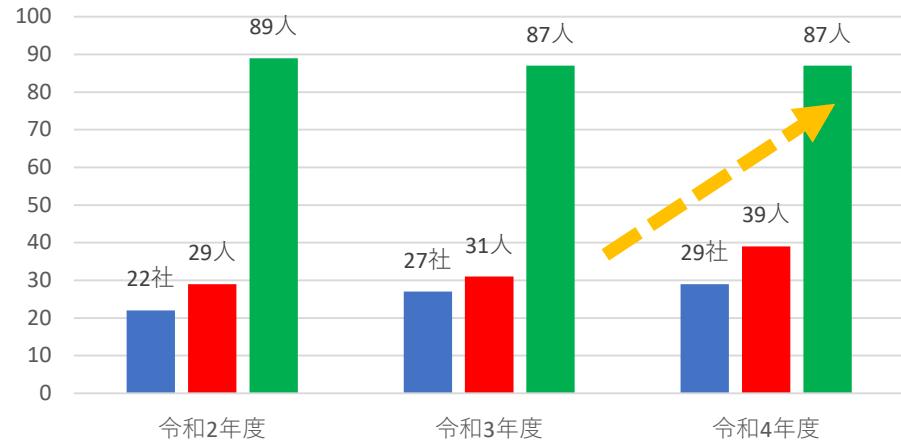
インターンシップ

受入会員企業数 & 参加学生数・全参加学生数



就職状況

採用会員企業数 & 採用学生数・就職全学生数



4-7. 研修・工場見学等

【工場見学】令和4年1月2日（水）午前中

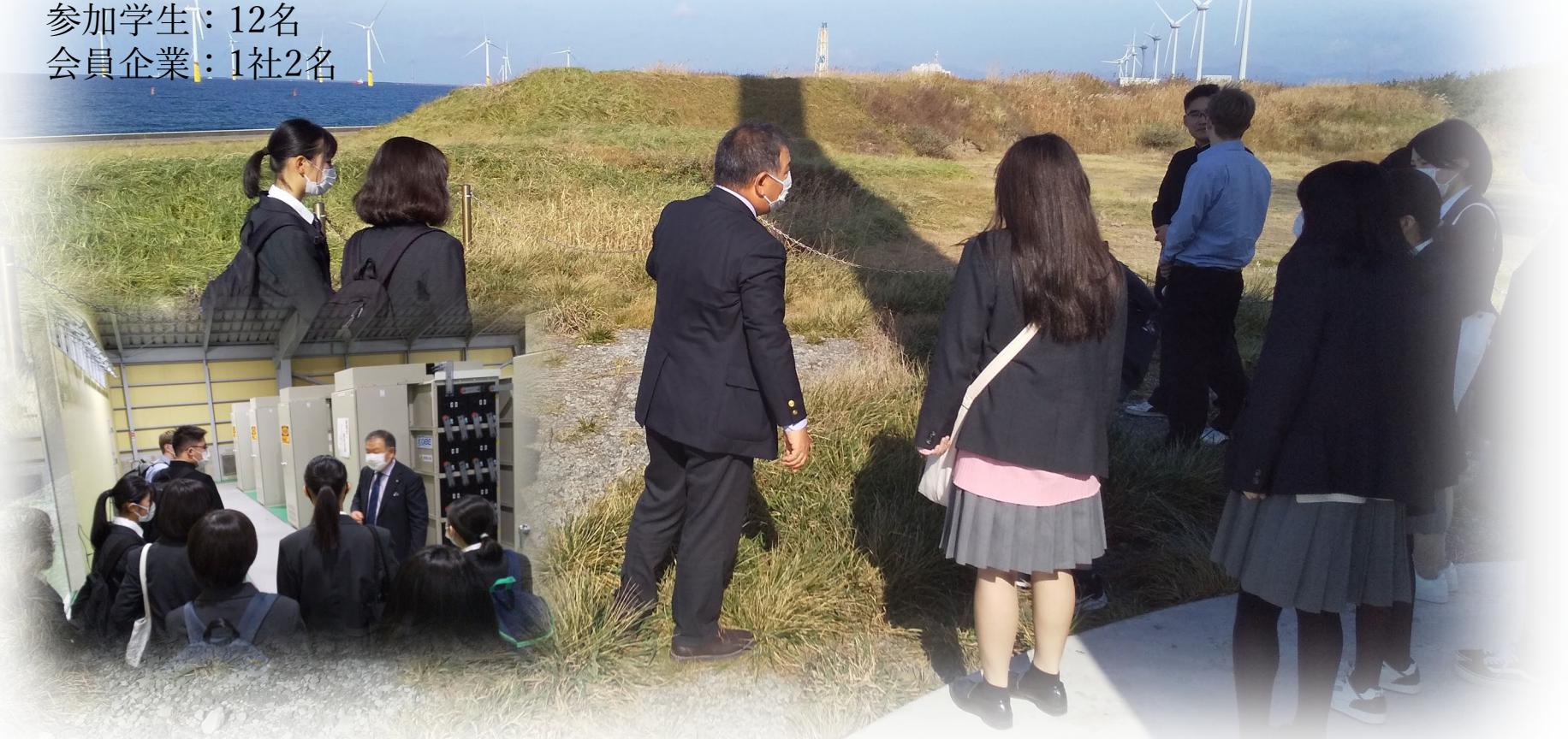
① TDK 株式会社 本荘工場西サイト

参加学生：19名

② 風の松原自然エネルギー株式会社（大森グループ）風の松原蓄電施設

参加学生：12名

会員企業：1社2名



5. 奨学金・海外留学補助等の支援のご提案

(1) 奨学金制度 (DOWAホールディングス株式会社)

DOWA入社希望学生への奨学金制度（5年在社すれば返済不要）案

対象：

- ・本科5年生入社予定者
- ・卒業後、専攻科へ進学または他大学へ編入学予定の本科5年生

(2) 会員企業様のご協働による海外研修・インターンシップ等のご提案

- ・事例 **Orsted Japan 株式会社**⇒大葉大学（台湾）とのMOUを仲介

(3) 貸与型奨学金制度 (Orsted Japan 株式会社)

名称：Orsted Green Scholarship Program

対象：再生可能エネルギー等に関心があり、TOEICスコア500点以上の学生

※令和5年度：本科5年生3名が採択

※その他

- ・海外の支店、協力企業のご紹介・ご仲介
- ・“（仮称）グローカル海外研修奨学金”のような制度へのご支援（計画中）

※秋田高専では、“グローバルエンジニア育成”を特色に掲げています。

6. 個別課題関連の研究会設立等

(1) 秋田のカーボンニュートラル実現に関する研究会

趣旨：2030年CO₂排出量50%削減、2050年CO₂排出量実質ゼロを目指した秋田のカーボンニュートラルに資するテーマを設定

- ◎エネルギー、材料、教育に注力した中長期的な研究テーマ設定
- ◎MOU締結（2023年3月、民間会員企業A、秋田高専）

(2) 秋田高専-DOWA地域共創プロジェクト

趣旨：DOWA独自の資源循環型ビジネスモデルを活用し、ものづくりの魅力に惹かれた学生を増やし、育成・輩出することで秋田を元気にするための共同教育プログラム

- ◎本科3年生夏季インターンシップ、本科4年生向け地域産業講義 等

(3) 再エネ・DX研究会（秋田高専主幹）

趣旨：秋田県の風力発電事業に係る产学研官のステークホルダーが結集した共創的ビジネス創出、技術者・研究者人材育成、資金獲得

- ◎最重要課題：洋上風力O&M人材育成・確保
洋上風力周辺事業の人材育成
再エネリソースの地産地消

- ◎会員：発電事業者7社、O&M事業者3社、再エネ関連事業者3社

7. まとめ：共同教育によるキャリア支援の強化・深化

本科3年

本科4年

本科5年

専攻科1年

県内定着キャリアプランFes

プレインターンシップ[°] (30時間～60時間)

県内企業工場見学・業界(技術)研究会

企業による個別面談会

インターンシップ[°] (30時間・60時間)

企業による個別面談会

企業採用・進学先決定

卒業研究 (一部課題解決or プレ研究開発)

&

海外留学

学生による研究発表会

実務家教員による演習講座
(PBL・課題解決等)

&

インターンシップ[°]
(課題解決or プレ研究開発等)
(30時間・60時間・120時間以上)

& 特別研究

企業採用・進学先決定

(強化・深化の趣旨)

- ・低学年からのキャリア教育と、これによる人材の早期確保
- ・学生が主体となってキャリア支援の環境を開拓
- ・学生のキャリア支援の協働による高度な人材の育成と確保、共同教育(課題解決、プレ研究開発等)による高専教育・研究の高度化